

目次

1. 新幹部、並びに第62代組織体系紹介
2. 平成29年度年間活動予定
3. 旗風に関して
4. 新歓案
5. OB会費に関して
6. 歌集編纂に関して
7. 2017年度予算報告

1. 新幹部、並びに第62代組織体系紹介

1) 新幹部

主将	乾 秀斗	兼 校旗責任者	兼 リーダー長	兼 振橋会渉外	
		兼 広報	兼 厚生	兼 車両責任者	
副将	高田 靖子	兼 吹奏責任者	兼 総務	兼 厚生	兼 財務
チアリーダー長	染谷 桃子	兼 渉内	兼 渉外		

2) 組織体系

振橋会渉外補佐	準幹部全員
渉内補佐	雨倉 あずさ
渉外補佐	杉山 健人
総務補佐	浅香 悠太朗・塚本 真衣
広報補佐	杉山 健人
吹奏責任者補佐	浅香 悠太朗
練習責任者補佐	佐原 諄紀・渡邊 さや
校旗責任者補佐	浅香 悠太朗
車両責任者補佐	佐原 諄紀

・「準幹部」という名称に関して

本年度は、従来使用していた「3年生」という名称を用いず、代わりに「準幹部」という名称を用いることと致しました。これは、幹部の人数が3人という状況において、第63代の6人の力なしには部を運営していくことはできないことを考えて決定致しました。例年の3年生以上に負担が大きくなると思いますが、第63代の6人には準幹部として部を担う自覚を持ち、活動を通じて自らの應援部員としての誇りを築き上げていって欲しいと思います。

・「校旗責任者補佐」に関して

「準幹部」という名称の使用に加え、本年度は新たに「校旗責任者補佐」という補佐役職を設けました。これは兼任役職の都合上、校旗責任者である乾が常に校旗を見ておくということが現実的に難しいという現状を踏まえた上で、校旗責任者が今まで行っていた練習や応援、あるいは日常的な校旗管理における仕事の一部を準幹部に任せたほうが良いと判断して下した結論です。部分的といえども準幹部に校旗の管理を任せるという行為には賛否両論があるとは存じますが、決して一橋大学の象徴たる校旗を軽視する意図はないということをご理解いただきたく思います。

3) 本年度スローガン

「連繋」

本年度、我々第 62 代幹部は「連繋」とうい活動方針を掲げました。これには、人とのつながりなしには成立しない応援部という部において、部員には部内・部外問わずあらゆる人とのつながりを大切にして活動に励んでほしいという願いが込められております。応援という行為は、応援部員と応援する相手がお互いを理解し合った上で行うことに意味があります。あらゆる活動の根底にある、人と人とのつながりなしには、応援部の存在意義は見出せないと我々第 62 代幹部は考えております。また、この「連繋」という言葉には、「応援部を後世へ繋げる」という意味も込められております。諸先輩方が受け継いできた 60 年間の伝統を尊重し、未来永劫にわたって応援部が発展を重ねていけるよう、より良い応援部を創り上げてまいります。

2. 平成 29 年度活動予定

1 月 1 日	スキー応援
1 月 10 日	如水会新年会
1 月 11 日	新歓ミーティング
1 月 21 日	第 1 回幹事会・振橋会新年会
1 月 25 日	新年ミーティング
2 月 7,8 日	追い出し旅行
2 月 10 日	新歓ミーティング
2 月 12 日	男子ラクロス部交流会
2 月 19 日	東京大学、筑波大学、京都大学応援部応援団 懇親会
2 月 20 日	ボート部交流会
2 月 24 日	第 2 回幹事会
2 月 28 日～ 3 月 4 日	春合宿
3 月 10 日	第 3 回幹事会
3 月中旬	フィールドホッケー体験会
3 月 18 日	卒業 45 周年記念大会
3 月 21 日	卒業式、卒業記念パーティー出演

3月29,30日	サークル紹介
4月2日	入学式
4月30日	第69回商東戦
5月中旬	ホームカミングデー
5月19日	第4回幹事会
5月27,28日	ボート部軽量級応援
6月10,11日	KODAIRA 祭
6月下旬	三商開会式・演舞会
8月22日～ 8月26日	夏合宿
11月24,25,26日	一橋祭
12月中旬	幹部交代式

3. 旗風に関して

旗風発行責任者：乾 秀斗

連絡先 1114019k@g.hit-u.ac.jp

旗風編集責任者：杉山 健人・渡邊 さや

今後の予定

- ・2月中 編集作業完了
- ・3月上旬 印刷会社に原稿提出
- ・3月下旬 旗風完成予定
- ・4月上旬 OBOG の方々に発送

4. 新歓案

本年度はリーダー5名、チア5名、計10名の新生部員獲得を目標に新歓活動に取り組みます。一昨年度、昨年度の早期の動き出しが新生部員の獲得に結実したことを踏まえ、本年度も新歓期の序盤から単独イベントを開催することで新生との接触を重ね、早い段階で多くの新生と親密な関係を築き、入部に繋がられるよう努めていきたいと考えております。それに加え、今年度は新歓期の序盤に接触することが難しい地方出身者を新生部員として獲得することができるよう、4月中にも積極的に新たなイベントを開催する所存です。

近況と致しましては、1月11日に本年度第1回目となる新歓活動の話し合いを行いました。今回の話し合いでは、昨年度の新歓活動の反省点を踏まえたうえで、改善策や本年度の新歓活動において新たにやってみたいこと、部員間での情報共有の方法などについて議論致しました。

今回の話し合いは2月10日を予定しており、内容と致しましては、Twitterをはじめとする情報発信ツールの活用方法や今年度開催を考えているイベントの具体的な内容案、新生への対応の統一等について議論する予定です。

5. OB 会費に関して

1) OB 訪問の状況

年末に幹部交代状・振橋会会長新年のご挨拶と共に OB 会費納入のお願いの文書を郵送し、正月明けから部員が各 OB の方々に電話とメールを利用してコンタクトを取っております。海外に駐在されている OB の方はメールアドレスが分かっている方に旗風名簿の変更点の有無だけを確認しております。

1月21日現在、銀行振込にて34名の方から会費を頂きました。詳しい現在の状況に関しましては、1月25日のミーティングにて、部員からデータ表を回収する予定です。

3) OB 会費納入方法に関して

現在、OB 会費の納入方法に関して、現役側からは訪問・銀行振込・自動口座引き落とし・如水会カード引き落としという4つの選択肢を提示しております。ある OB の方より、現役部員数が少ない現状を踏まえると、如水会カード引き落としをデフォルトの納入方法として、例外的に他の納入方法を提示するという形をとれば、会費の納入も安定し現役部員の負担も減るのではないかという意見を頂いております。

6. 歌集編纂について

本年度も自治団体連合の予算不足につき歌集を発行いたしません。代わりに、昨年度に引き続き体育会総務委員会が発行している新入生向けの冊子「一橋スポーツ」に、一橋の歌として校歌・応援歌に加えて寮歌祭で歌われる歌のみに絞って掲載させて頂くことになりました。費用につきましては、体育会総務委員会が直接自治団体連合に請求するため、応援部の一時負担金はありません。

7. 2017 年度財務予算報告

表により、説明させていただきました。ここでは割愛させていただきます。